

本とあそぼう Vol. 66

こどもんと

2006年 9月
宇佐市民図書館

〒 879-0453
宇佐市大字上田1017-1
Tel.0978-33-4600
Fax.0978-33-4679

ねたまきりの おばあちゃん

畑中圭一

うちのおばあちゃん ねたまきりやねん
おこづかい くれへんし

おはなし してくれへんし

どこぞへ つれてもろうてへんし

なんにも してくれへん

と おもってたけど

だいじなこと してくれてはる

いっしょうけんめい いきるといふことや

うちのおばあちゃん うごかれへんねん

しゃべること でけへんし

トイレも いかれへんし

ひとりでたべることも ようせんし

なんにも してはらへん

と おもってたけど

だいじなこと してくれてはる

いつでも にこにこわらうということや

『子どもといっしょに読みたい詩 100』 より

小林 信次 監修 水内喜久雄 編著

たんぽぽ出版 刊

『ブドウの本』そだててあそぼう 45

たかはし くにあき へん

さわだ としき え 農文協 刊

あきの楽しみブドウは、もともと砂漠生まれ。世界中に8千種以上あり、雨が多い日本で育てるには、棚づくりなどいろいろな工夫が必要です。巨峰の苦労話もあり、知って食べるとおいしさが増します。ブドウがたくさん手に入ったら、ブドウジュースやジャムを作ってもいいですね。苗の入手先もあります。



『いくぞーカレー探検隊』

坂本 廣子 著 まつもと・きな 絵

偕成社 刊

日本ではいつからカレーを食べていたの？ どこからきたの？ 料理を作る前のお約束から、9種類のカレー料理レシピまで。もっとカレーが食べたくなる・作り方もありますよ。



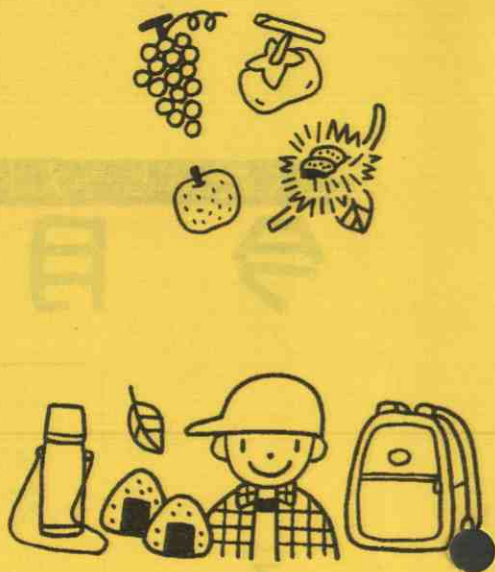
ほかにもおいしい
ごちそうの本
ありますよ！

『たこやきのナゾ』

熊谷 真菜 著 シノハラ ガク 絵

草土文化 刊

おおさかじまん 大阪自慢の「たこやき」は、みんなの大好物。でも、もともとの「なにわのたこやき」はソースもないものが基本。タコを入れるようになったのは、明石の「玉子焼」から。そのモトは飾りものの「明石玉」職人が作ったのだとか。大阪のおじちゃんとおぼんの話聞いてたこやきをもっと知ってみよう！



【世界の食べ物、おいしいもの】

どくだんとへんけんによっているかもしれない

今月の一冊



『子どもの本とごちそうの話』

赤木かん子 著

川原 泉 イラスト 径書房 刊

『若草物語』の中にたくさん料理が出てきます。ブランジュや「塩漬けのライム」なんてものも。今ではよく見るアスパラガスも、昔は「何これ？」という不明なもの。でもおいしそうで、気になる。こどもの本からそんな気になる、食べて幸せになりそうなごちそうを集めた本です。今なら作れるものがたくさんあります。児童文学の名作をもう一度「味わいたく」なります。

(この本は「ヤングコーナー」にあります)